



# ヤマツツジ [山躑躅]

5本の樹

常緑・半落葉 / 低木 / 木本植物 / 在来種



**科名** ツツジ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：普通

分布域が広く、各地の日当りのよい山野に自生する。花の色に地域差があり、主流は、赤、朱、橙色だが、白、桃、紫系もある。常緑性のツツジには春葉と夏葉があり、春葉は春に展開し秋に落葉、夏葉は夏に展開し冬を越すことが多い。そのため「半落葉」とも表現される。



## Memo

ツツジの漢字は躑躅。草食動物がツツジを食べ、アルカロイドによりふらつく様子を表現している。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					(環境により時期が異なる)								
果 実					(観賞には向かない)								
紅葉・黄葉													
施 肥													
剪 定													

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日 当 り	陽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土 壌	乾	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寒 さ	強	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
暑 さ	強	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
潮 風	強	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○	○	○	○	○	

**ポイント** 萌芽力があり強い剪定にも耐えるが、里山で咲くように自然樹形を楽しみたい。酸性土壌を好むので、鹿沼土やピートモスで植穴周囲を酸性にするとよい。

**剪 定** 落葉性のツツジ類は、萌芽力が弱いので刈り込みは控える。剪定は枝の分かれ目から切り、樹形を整える程度に留めたい。自然樹形を生かす方が野趣を楽しめる。

**病虫害** 乾燥するとハダニやグンバイムシが発生しやすくなる。ベニモンアオリンガ（蛾の一種）の幼虫が発生すると、新葉や蕾に侵入し食害することがある。

呼べる蝶 コツバメ・ヒメシジミ・アゲハ類